

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-161669

(P2015-161669A)

(43) 公開日 平成27年9月7日(2015.9.7)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
GO 1 J 1/02 (2006.01)	GO 1 J 1/02 R	2 G 0 5 9
GO 1 N 21/41 (2006.01)	GO 1 N 21/41 1 O 1	2 G 0 6 5
GO 1 J 1/04 (2006.01)	GO 1 J 1/04 A	5 J 0 2 0
HO 1 Q 19/12 (2006.01)	HO 1 Q 19/12	
GO 1 N 21/3581 (2014.01)	GO 1 N 21/35 1 O 5	

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2014-38817 (P2014-38817)
 (22) 出願日 平成26年2月28日 (2014. 2. 28)

(71) 出願人 504145320
 国立大学法人福井大学
 福井県福井市文京3丁目9番1号
 (71) 出願人 390013815
 学校法人金井学園
 福井県福井市学園3丁目6番1号
 (74) 代理人 100110814
 弁理士 高島 敏郎
 (72) 発明者 栗原 一嘉
 福井県福井市文京三丁目9番1号 国立大
 学法人福井大学内
 (72) 発明者 谷 正彦
 福井県福井市文京三丁目9番1号 国立大
 学法人福井大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 電磁波検出器及び電磁波検出方法

(57) 【要約】

【課題】 低コストで光学レンズよりも高い集光効果を得ることが可能な電磁波検出器を提供する。

【解決手段】 導波部材に電磁波を入射し、この導波部材によって基板に設けられた電磁波検出部に電磁波を集光させて電磁波の検出を行う電磁波検出器において、前記導波部材が、前記基板に密接して設けられた本体と、この本体に形成され少なくとも表面が電磁波を伝搬して前記電磁波との間で表面プラズモン結合を生じさせる金属で形成されたV溝と、このV溝の頂部に形成され前記電磁波の波長以下の幅寸法を有する出口とを備え、前記出口から出射される電磁波の電場の振動方向を前記電磁波検出部によって検出できる電磁波の電場の振動方向に一致させた。

【選択図】 図1

